

B21 (三輪・纏向・織田)

【 三輪王朝人が見た風景 】

～ <sup>はしはか</sup> 箸墓古墳と三輪山 ～



箸墓古墳は、日本最初に築造された大型の前方後円墳です。3世紀後半の築造とされ、卑弥呼の墓とも伝えられています。古墳の北に広がる池の堤から、山そのものをご神体として崇められている三輪山を借景に、池に映る雲の流れや箸墓古墳や三輪山の姿が折々に変化する様子は、古代史の浪漫を彷彿とさせるものがあります。堤には、大坂山から人々が手渡しで石を運んできたという箸墓築造にまつわる歌碑が建てられています。

(桜井市 箸中)